

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和6年4月1日	作成担当部署	観光交流課	電話番号	69-2111	代表者	代表取締役社長 黒木 秀樹
名称等	名称	株式会社 東郷町ふるさと公社		所在地	〒883-0211 日向市東郷町坪谷1267番地		
	設立年月日	平成9年10月16日		電話番号	TEL: 0982-69-7720 FAX: 0982-69-7721	ホームページ アドレス	https://www.bokusuiPark.com
資本金	30,650千円	設置目的	第一次・第二次・第三次の枠組みにとらわれず、あらゆる経営資源を活用し、業務を多角的・複合的に行う		事業(業務)内容	牧水公園の管理運営業務	
役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額	有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の	職員給与総額(千円) R5年度
	総数	うち市出向者・退職者数	(千円)R5年度	総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	
	4	0	0	3	1	54	11,857
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)						
	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)		
		R3	R4	R5			
	① 運営補助金	1,743	100	0			
	② 指定管理料	23,000	23,000	24,000			
	③ 貸付金	0	0	0			
	④ その他(業務委託)	1,920	0	461	日向市中小企業等デジタル化支援事業補助金、日向市過疎地域振興基金事業補助金		
	合計	26,663	23,100	24,461			
	・短期貸付金残高						
	・長期貸付金残高						
	合計						
	(2)人的支援(人的関与) 市の出資割合97.9%:副市長が代表取締役社長に就任している						
	(3)その他の取組(その他の課題)						
	・指導・監督の強化						
	・情報の公開						
法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	経営課題	経営健全化策(具体的取組)		取組結果		点検・評価	
	経営形態見直し策	構築された業務マネジメントの適正な運用管理による月別事業実績等から経営状況の検証を行い、繁忙期と閑散期の経営形態の見直しを継続するとともに、日常業務における管理体制の充実・強化に努めます。		会社の経営を持続するため毎月の経営分析に基づき経営状況を把握し、社員間の情報共有を図り、軽微な維持補修や外部業務委託としないグラウンド等の草刈り等を実施しました。施設の軽微な修繕、経年劣化したホットプレート5台を購入するとともに、キャンプサイトのチェックインの時間を15時から13時に変更。キャッシュレスサービスの導入(PayPay)、コテージ・キャンプサイトのネット予約システム(なっぶ牧水公園)の導入、牧水公園のホームページの開設を行うなど、施設利用者の利便性向上を行ったところです。また、勤労意欲向上のため、最低賃金改正に伴い賃金の見直しも行ったところです。しかしながら、燃料高騰や円安の影響で資材が値上がりし、委託料や賃借料が増加しており、経営状況は厳しいものとなりました。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 利用者数については、前期実績を下回っていることの要因について、しっかりと分析を行い今後の経営改善の取組に生かしていただきたいと思います。また、経営改善のためには、経費以上の収入を目指す必要がありますが、現在の取組については改善の余地があると考えられますので、合宿誘致の更なる推進等について検討いただきたいと思います。チェックイン時間の変更や予約システムの導入など、施設のデジタル化と利用者の利便性向上が図られていますが、リニューアルされたホームページにおいても情報発信(新着情報のPR等)が不足しているため、集客につながっていない可能性があります。これらの施策が利用者数に与える影響や効果を検証するとともに、分かりやすい情報発信について更なる改善に努めることを期待します。	
	自主事業の実施	継続して実施する自主事業については、多面的な視点でのリニューアルを行いながら施設の利用促進を推進します。		令和5年度はコロナウイルス感染症外出自粛緩和により「春のつつじ祭り」が5年ぶりに開催されるなど多くの来園者でにぎわったところです。また、牧水公園交流施設(テニスコート及び多目的グラウンド)を活用し、市内外の中学生ソフトテニス部やスポーツ少年団サッカーチームの交流大会を開催し、技術向上と児童・生徒間の交流と親睦を深めることにより、青少年の健全育成に寄与する効果や施設の魅力を広く発信でき、スポーツ合宿や合同練習などに有効利用できることを宣伝できたことは大きな効果と言えます。また、施設利用者からの要望の高いバーベキューコンロの貸出や木炭の販売を継続して行ったところです。今後、新型コロナウイルス感染症が5類になり、利用者も増加していますので、社員の衛生管理対策を徹底するとともに、交流施設・コテージ内への除菌スプレー設置や室内清掃時における消毒作業の徹底など引き続き感染防止対策に努めながら、施設・公園の管理を行っていきます。今後も、牧水の里のスポーツ大会を開催することで、牧水公園テニスコート・多目的グラウンド、ふるさとの家での合宿等の情報発信に努めます。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 自主事業の開催に際しては、これまでとの違いや課題、改善点を明確にすることが求められます。持続的に収益を上げるためには、単なるイベントの開催にとどまらず、河川プールやキャンプ場など、牧水公園の特色を活かした自主事業の展開を検討し、来場者の拡大と施設の収益増を目指すことが必要です。現状では自主事業の実施が少ないと思われ、アフターコロナの中で、新たなニーズが増えている可能性も考慮しながら、事業内容の検討を行っていただきたいと思います。また、今後の自主事業の充実と収益向上に向けた具体的な取組が必要となるため、検証の際にはこれまでとの違い(どのような課題があり、どのように改善を行ったのかなど)について明確にしてください。	
施設間連携の強化	施設間、外郭団体、地域の自治会等との連携・協力体制を強化し、相乗効果のある事業を実施します。		令和5年度はコロナウイルス感染症外出自粛緩和により「春のつつじ祭り」が5年ぶりに開催されるなど多くの来園者でにぎわったところです。今後もまちづくり協議会や隣接する若山牧水記念文学館及び旧牧水庵跡の飲食店との連携・協力体制の強化・維持に努めます。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった より効果的な事業を行っていくためには他の施設との連携強化が必要不可欠です。点としての取組に限界がある場合、面としての取組に変えていくことが重要となるため、地域の店舗・飲食店はもとより、地域への働きかけにより、これまで以上に連携を強化していただきたいと思います。連携強化によるイベント等への協力を得ることで、情報発信の効果も高まると考えられるため、今後の具体的な取組を検討してください。		

市による財政的なリスクへの対処のための具体的な取組	施設維持補修経費の確保	老朽化等に伴い発生する施設更新・修繕費に必要な財源確保に努めます。	コテージの外壁・屋根の改修を閑散期の6月及び1・2月にを行いました。 また、テニスコート人工芝、浄化槽、コテージ換気扇等の修繕を行いました。			<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 老朽化が進む施設に対しては単なる改修にとどまらず、Wi-Fiの拡充などの新たな設備を導入するなど、プラスの方向に進める考え方が必要です。 具体的な取組として「財源確保に努める」との表現があるため、修繕対応だけでなく、会社の事業活動に対する積極的な意見提案を行ってください。 一方で、施設の老朽化が進む中で、持続的な運営を見据えた戦略についても検討する必要があります。 アフターコロナの観光トレンドや利用者のニーズを的確に把握し、今後の施設運営においては、施設の撤去等を含めたビジョンを持っていただくようお願いいたします。 老朽化対策にどの程度コストをかけているのかを明らかにすることが財政的なリスクへの対処につながると考えられます。 これらを踏まえ、市として経営環境の整備や指定管理者への支援策を検討してください。				
	財務状況	貸借対照表	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	金額(千円)			
		項目	R3	R4	R5	項目	R3	R4	R5	
		資産合計	46,581	46,775	47,213	経常収益	27,903	26,366	28,339	
		負債合計	3,701	3,611	4,085	うち市からの補助金・委託	20,909	20,909	22,279	
		資本合計	42,880	43,164	43,128	経常費用	24,816	25,781	28,115	
		累積欠損金	0	0	0	経常利益(損失)	3,133	585	224	
						当期利益(損失)	2,258	284	△ 36	
指標関係	財務指標	指標(数値目標)	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R5実績	R6目標		
		当期純利益(単位:千円)	2,589	2,258	284	1	△ 36	1		
	流動比率(単位:%)	1153%	1258%	1295%	1299%	1155%	1151%			
	活動指標	ふるさとの家利用者数	589	384	935	1,500	1,910	2,000		
		牧水庵利用者数	1,191	0	0	0	0	0		
		コテージ利用者数	1,145	796	1,515	1,500	1,721	1,800		
		テニスコート利用者数	3,352	2,649	2,323	2,500	2,093	2,500		
		キャンプ場利用者数	299	384	384	400	321	400		
	自主事業開催回数	0	0	0	2	2	2			
財務・成果・活動指標取組結果	<p>令和5年度においては新型コロナウイルス感染症が5類となり、利用者・売上高も最盛期までとはいかないまでも、利用者で9,909人(対前年度比1,655人の増)、売上高で681万円(対前年度比92万円の増)と施設利用者も増加傾向となりました。また、必要経費の増加に伴い市からの委託料についても増額していただいたところであります。コテージの外壁及び屋根の洗浄・塗装、バルコニーの腐食部分の改修は閑散期の6月及び1・2月に補助事業で実施していただき、利用者が満足いただけるものとなりました。会社の経営を持続するため毎月の経営分析に基づき経営状況を把握し、社員間の情報共有を図り、公園を含めた施設利用者が再度訪れてみたくなる施設を目指し、軽微な維持補修や外部業務委託としていないグラウンド等の草刈り、委託期間外の周辺の草刈り・片付け、落ち葉の清掃等を実施するとともに、経年劣化したホットプレート5台を購入しました。また、キャンプサイトのチェックインの時間を15時から13時に変更。キャッシュレスサービスの導入(PayPay)、コテージ・キャンプサイトのネット予約システム(なっぶ牧水公園)の導入、牧水公園のホームページの開設を行うなど、施設利用者の利便性向上を行ったところであります。また、勤労意欲向上のため、最低賃金改正に伴い賃金の見直しも行ったところであります。</p> <p>本年度もコロナ禍の終息が見えない中での外出自粛緩和措置・5類への移行により、前年度と比較して施設利用者が増加したものの、燃料高騰や円安の影響で資材が値上がりし、委託料や賃借料が増加しており、通常年と比較すると厳しい状況となりました。</p>									
第三セクター経営検討委員会 点検評価 総括	<p>限られた人員で安全・快適な施設運営に努めていることは評価できますが、より効果的・効率的な経営を行っていくためには、現状維持が主となっている既存の方向性を転換し、利用しない方々からの意見収集も行いながら、経営的視点を持った柔軟な取組を行っていく必要があります。</p> <p>利用者の利便性向上のため、チェックイン時間の拡充やキャッシュレス、予約システムの導入等、デジタル時代に合わせた取組も進められていますが、今後はこれらのツールをどのように活用し、施設運営に生かしていくかが重要となります。</p> <p>経営において情報発信は特に重要ですので、他施設のホームページやSNSを参考に、牧水公園の魅力を発信する工夫について研究を行っていただき、利用者目線で分かりやすい情報発信を継続して行ってください。</p> <p>また、老朽化が進む施設については、市が対応していますが、現在の観光トレンドや観光客のニーズを的確に把握しつつ、コストを含めた収益性を評価しながら、有効な対策を検討することが必要です。</p> <p>さらに、自主事業の開催による利用促進や地域との連携には改善の余地があると考えられます。</p> <p>具体的な部分では文化系の団体などの合宿需要に対しては、地元の協力を得ることで地域性を生かした差別化が可能であると考えられます。</p> <p>今後の取組においては、これらの意見を踏まえた具体的な施策を進め、利用者の満足度向上と経営の健全化を図ることを期待します。</p> <p>なお、市・法人ともに、経営課題に対する取組内容が固定化しており、当経営検討委員会による点検評価結果の反映や改善の取組が不十分な状況が見受けられます。</p> <p>現時点では黒字が確保できているものの、将来的には厳しい経営状況となることも予想されますので、収支、人員、施設設備等に関する財政的なリスクの視点のみならず、市民・利用者の満足度向上に重点をおいたアンケートの実施・検証やサービスの改善等に取り組むとともに、市においては、市の施策の中での牧水公園の目指すべき方向性、第三セクターの設立趣旨・事業目的を踏まえた指定管理等の管理運営の手法のあり方に関する検討を行い、法人と連携の上、今後の市・法人の具体的な取組に反映させてください。</p>									
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	⇒	A	経営努力を行いつつ事業は継続						
		⇒	B	事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要						
		⇒	C	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要						
		⇒	D	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要						

第三セクター経営 検討委員会の点 検・評価 結果を踏 まえた意 見	市	今後の方向性	イ	⇒	ア 経営努力を行いつつ現状のまま存続	
				⇒	イ 事業内容等の見直しを行った上で存続	
	⇒	ウ 再建を行いつつ存続				
	⇒	エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡				
	⇒	オ その他()				
		今後の取組について	<p>休業中である公園内の飲食施設「牧水庵」では、現在新規事業者の公募を実施しており、市内外からの集客が見込まれる魅力的なサービスの提案のほか、コテージ宿泊者やイベント・スポーツ大会開催時の利用者向けサービスの提供など、交流施設と連携した利用者の拡大に取り組みます。令和7年度には牧水公園交流施設の指定管理者の公募が予定されているため、人件費や業務委託料の見直しについて、業務内容のスクラップアンドビルドによる検討を行い、職場環境の充実を図ります。</p> <p>また、利用料金の設定についても、近隣市町村の類似施設等の状況を調査しながら見直しを検討します。経営の改善に関して、市としても積極的に連携した支援に取り組み、施設管理者との定期的な意見交換の場を設置します。利用者数の伸びていないキャンプ場については発信力のある人材を活用することや、現在休止しているバターゴルフ場の別用途への転換を含めた活用方法等について施設管理者と検討します。また、集客力のある大型遊具施設の老朽化が進んでいるため、関係部署と協議を行い、新設の検討を含め、年次的な改修を計画します。</p> <p>引き続き、効率的な運営体制の構築に向けて指定管理者と連携し、今後、地域資源を有効活用した観光拠点の中心として持続可能な運営を目指します。</p> <p>令和6年度は、「牧水庵」の空調設備工事、外壁塗装工事等を行いました。 今後も、修繕・改修、更新等が必要な施設、設備、備品をリスト化し、計画的な整備に取り組んでいきます。</p>			
	東郷町株式会社 ふるさと	今後の取組について	<p>令和6年度における牧水公園の利用状況については、コロナ禍後、利用者数が8月までは順調に増加していましたが、秋以降、インフルエンザの感染拡大等により、1月末の利用者数は8,286人と、前年と比較して429人の減少となりました。</p> <p>しかし、売り上げに関しては、県の「みやざき春旅クーポンキャンペーン」の利用により、4月から6月にかけて利用が伸びた結果、前年と比較して120万円の増加となりました。</p> <p>コテージの利用については、令和5年8月に導入したネット予約「なっぶ牧水公園」により利用者が増加したものとされます。</p> <p>令和5年3月に新しく開設したホームページ「牧水公園:bokusui park」では、施設情報の掲載に加え、4月のつつじ祭りに向けたつつじの開花情報や夏の河川プールの遊泳情報等をお知らせしています。今後は、令和7年度から開業予定の飲食店と連携し、施設の集客と飲食店の収益に繋がる新しいイベント等の構築に向けて協議を行う予定のため、イベントなどの新規投稿を増加し、情報発信の拡大に取り組んでいきます。</p> <p>令和6年度の自主事業については、インフルエンザ等の感染拡大により開催を見送ったところですが、令和7年度以降は、ソフトテニス・サッカーのスポーツ大会や若山牧水記念文学館との共同による短歌塾を開催することで、利用者数の増加に努めていきます。テントサウナ事業についても、利用者のニーズを把握しながら実施に向けた取組を検討し、新たな収益源の開拓を目指します。また、利用料の見直しについては、市との協議を進めていきます。</p> <p>施設の管理に関しては、委託業者による草刈や樹木管理を実施していますが、委託外でも草刈作業や落ち葉の片付けを定期的の実施し、美しい環境づくりを心がけています。今後も、公園内施設を利用された方々が気持ち良く過ごせる「また行ってみたい牧水公園」の維持管理・環境美化に引き続き努め、利用者の満足度向上とリピート率の増加を促進し、安定した利用者基盤の確保に繋げていきます。</p> <p>施設の利用増に伴い売り上げも増加していますが、必要経費や消費税、草刈・樹木管理業務の再委託費等も年々増加しており厳しい財政状況なので、健全な営業を目指します。</p>			
その他 特記事項						